

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	地島～神湊	観光担当部署との連携により、島内でのイベントについての情報発信を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で、観光イベントは全て中止となった。	C	C	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを適切に実施・継続する。そのうえで、「withコロナ」「afterコロナ」を見据え、来訪者と島民双方が安心できるように感染症対策のPRとセットにした来島・観光案内を島内観光事業者と連携して実施する。	新型コロナウイルス感染が拡大する中で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。また、感染症対策として例年にはない費用が多額にかかる中、費用を例年と同程度に抑えている事も評価できます。	
福岡県宗像市離島航路確保維持協議会	宗像市	大島～神湊～地島	観光担当部署との連携により、世界遺産やオルレなどの情報発信を行った。しかし、新型コロナウイルスの影響で、観光イベントは全て中止となり、釣りやオルレ目的の観光客も大幅に減少した。	C	C	新型コロナウイルスの感染拡大防止に向けた取り組みを適切に実施・継続する。そのうえで、「withコロナ」「afterコロナ」を見据え、来訪者と島民双方が安心できるように感染症対策のPRとセットにした来島・観光案内を島内観光事業者と連携して実施する。	今後も、例年行っている正月ダイヤ等で増便している期間の利用状況・収入状況等を把握し、可能な限りの利用増進に関する取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県新宮町離島 確保維持協議会	新宮町	相島～新宮	近年の観光客の増加に対応するため、前期は、積み残しによる臨時運航の実施や多客時に乗船客整理業務を委託し、利便性向上に努めた。後期は、新型コロナウイルス感染予防のために、消毒液の設置・マスク着用の励行・乗船前検温・船内消毒・座席間隔の確保等を行いながら、運航を継続した。	A	B	引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う情勢を観察しながら、必要な感染予防策を講じ、運航を継続する。 渡船利用者の動向を踏まえ、新たな代船の確保や外国人利用客向けの多言語表示や音声案内を行い、利便性の向上を図る。	新型コロナウイルス感染が拡大する中で、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も感染症対策を実施しながら、観光地である相島の観光客誘致等の取組に期待したいと思います。 また、新たな代船の検討も続けていただきたくおもいます。	
福岡県福岡市離島 航路確保維持協議会	福岡県福岡市	玄界島～博多	島民以外の利用者に渡船の利用を促すため、引き続きSNS等を活用した情報発信を行った。 また、令和元年12月よりLINEPayによるQRコード決済、待合所内の無料公衆無線LANサービスを開始した。	A	B	島民が安心して乗船できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、適切な時期を捉えて、SNS等を活用した情報発信を開始し、島民以外の利用者拡大に努めていく。	新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 今後も、SNSでの情報発信や利用者の利便増進等の取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考	
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点		評価結果
福岡県福岡市離島航路確保維持協議会	福岡県福岡市	小呂島～姪浜	島民以外の利用者に渡船の利用を促すため、引き続きSNS等を活用した情報発信を行った。 また、令和元年12月よりLINEPayによるQRコード決済、待合所内の無料公衆無線LANサービスを開始した。 なお、欠航情報の迅速な周知については、島内漁協の放送設備の活用を含め、検討している。	B	C	島民が安心して乗船できるよう、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を徹底するとともに、適切な時期を捉えて、SNS等を活用した情報発信を開始し、島民以外の利用者拡大に努めていく。 欠航率の改善については、時化に強い船舶の建造を目指していく。 欠航情報の迅速な周知に向け、引き続き島内漁協の放送設備の活用も含め、検討していく。	新型コロナウイルス感染拡大が続く中、感染症対策を行いながら離島航路運営を維持していること自体評価できます。 また、利用者の利便増進のためキャッシュレス決済システムの導入を行ったことも評価できます。 また、策定された航路改善計画に沿って、時化等へ対応する省エネ型代替船舶の建造、欠航状況の把握等を行う取組などに期待します。	
福岡県糸島市離島航路確保維持協議会	糸島市	姫島～岐志	引き続き、糸島市航路改善計画に基づき、利用者の増進及び利便性向上に努めている。 また、継続して、市観光部門が作成した「ひめしマップ」を活用により島の魅力をアピールし、観光客等の増進に努めた。	A	C	引き続き、島内整備や関係機関との連携により観光利用客の増加に取り組む。 また、観光パンフレット「ひめしマップ」の配布やホームページ、フェイスブックなどによる情報発信を行い、福岡都市圏から1時間ほどで自然が満喫できる島の魅力をアピールし、観光客や団体利用客の再利用・新規利用誘致など島外利用者の拡大に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、島民からの意見を反映しながら、離島航路の運営を維持していること自体評価できます。 今後も観光パンフレット、ホームページ等の活用により、観光客誘致の取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
福岡県北九州市離島航路確保維持協議会	北九州市	藍島～小倉	<p>①ダイヤ改正 新たなニーズを探りつつも、改正後のダイヤも十分に浸透した。また、コロナウィルス感染拡大による夏季増便の中止の声にも対応した。さらに、島民からの要望を踏まえて正月ダイヤの変更を行った。</p> <p>②運賃改定 ホームページや島民説明会などで運賃改定について周知した。</p> <p>③経費縮減 船員で対応可能な小修繕を行い、停泊時のアイドリングストップや入札による燃料費縮減に努めた。</p> <p>④離島活性化 「藍島プロジェクト」を始め、関係局の垣根を越えて様々な意見交換を行っている。</p> <p>⑤増客対策 待合所とその周辺環境整備を行い、運賃改定による利用者減を抑制するため、ペアチケットやファミリーチケットを販売した。</p>	A	B	<p>①ダイヤ改正 ダイヤ変更はほぼ定着した。今後は、島民を含め、島外からのダイヤ改正のニーズが高まれば、その都度検討する。</p> <p>②運賃改定 運賃改定が小倉航路の維持や待合所等の環境整備に活かされていることを周知し、理解を深める取り組みを行う。</p> <p>③経費縮減 引き続き、経費の縮減に努めていきたい。</p> <p>④離島活性化 島は自然豊かな土地柄でもあるが目立った飲食店や観光施設はない。市観光部門の協力を得ながら、できることから始めて、地道な活動を行っていきたい。</p> <p>⑤増客対策 コロナウィルス感染拡大による影響は大きく、利用者増は達成していないが、待合所の改修やSNS用パネル掲示などの集客対策は行った。今後は、マイクロツーリズムの流れも活かし、臨時便や割引チケットにより、5月の連休や夏季休暇時での集客対応に力を入れたい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大の中、島民からの意見を反映しながら、離島航路の運営を維持していること自体評価できます。今後も市の観光部との連携をしていただき、SNS等にての情報発信を行いながら観光客誘致の取組に期待します。また、経費節減、安全運航の取組についても引き続きの実施をお願いします。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)郵正丸	馬渡島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。 引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 例年、コスト削減等を目標としていただいておりますので今後はイベント事業等の連携に関する目標を設定いただくなど、観光客誘致の取組に期待いたします。	
唐津市離島航路確保維持協議会	(有)加唐島汽船	加唐島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少していることから、島民利用の増加は望めないものの、各種イベント事業との連携により、観光客等の利用者の確保を図る。 引き続きコスト削減を図りつつ、計画運航回数の確保を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 例年、コスト削減等を目標としていただいておりますので今後はイベント事業等の連携に関する目標を設定いただくなど、観光客誘致の取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
唐津市離島航路確保維持協議会	川口汽船(有)	小川島～呼子	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	B	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図り、計画運航回数の確保に努める。 また、共通予備船の利用回数を増やすことで燃料消費量の削減を図るとともに、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 例年、コスト削減等を目標とされておりますので今後はイベント事業等の連携に関する目標を設定いただくなど、観光客誘致の取組にも期待します。	
唐津市離島航路確保維持協議会	唐津汽船(株)	神集島～湊	本航路は、離島住民にとっては島外への通勤、通学、通院、生活物資の購入等日々の生活の安定の確保という観点から、確実に計画運航回数の達成を目標とし、併せて観光客などの利便性を確保した。	A	A	島内人口が減少している中、今後もイベント事業と連携して、観光客等の利用者増加を図る。 引き続き安定的な航路運営に努め、計画運航回数の実施、コスト削減を図る。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路運営を維持していること自体評価できます。 例年、コスト削減等を目標としていただいておりますので今後はイベント事業等の連携に関する目標を設定いただくなど、観光客誘致の取組に期待いたします。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対策協議会	九州郵船株	博多～比田勝	島内の情報を収集。旅客、車両の増加に努めた。	A	A	旅客、車両共、過疎化、水産業の不振等で多くの利用増は見込めませんが、旅客グループ、定期トラックの利用増を引き続き働きかけていく。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。今後も、旅客の取り込みや定期トラック等の利用増加の取組に期待します。また、新船についてもR3.7月の就航に向けて、計画に沿った実施をしていただくようお願いいたします。	
長崎県離島航路対策協議会	崎戸商船株	友住～佐世保	離島航路改善計画実施により、令和元年6月11日新船就航に伴いこれからも費用の削減に努める。	A	B	新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続すると共に江島・平島沖洋上風力発電事業の実現に向け自治体と協力して行く。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航路を維持していること自体評価できます。新船が就航しておりますので、今後も費用削減の取組に期待します。今後、風力発電の事業が実現化されれば、輸送増も見込まれますので、自治体等との協力した取組に記載します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	九州商船株	佐世保～上五島	新船「いのり」就航や世界遺産登録の 効果を活用し、島外からの観光客誘致 を図ったほか、日頃から船舶の点検等 を行い安全運航と経費節減に努めた。	A	A	新型コロナウイルスの影響が収束した後に輸 送量を元に戻せるよう、関係者と連携を図り ながら営業活動に努める。 また、「フェリーなみじ」が船齢33年と老朽化し ているため、代替船を建造・就航させることが できるように時期を見極め計画を立てる。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航 路運営を維持していること自体評価できま す。 コロナ禍で落ち込んだ需要を取り戻すための 具体的な対策を講じられることを期待しま す。	
長崎県離島航路対 策協議会	野母商船株	福江～青方～博多	①経費面では、博多～宇久港間の下り 便に於いて減速運航を継続して行うこ とで燃料費削減に努め、その他経費に 於いても削減に努める。 ②収入面では、積極的な営業活動を行 い増収に努める。	A	B	①経費面では、博多～宇久港間の下り便に 於いて減速運航を継続して行うことで燃料費 削減に努め、その他経費に於いても削減に 努めた。 ②収入面では、積極的な営業活動を行い増 収に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、離島航 路を維持していること自体評価できます。 今後は、営業活動等により、増収に関する取 組や、経費削減の取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	五島旅客船(株)	郷ノ首～福江	令和2年度は新型コロナウイルス感染 拡大の影響から、運航収益が大幅に落 ち込みました。本年度は、代替船を無 事に就航させ、車両航送等において取 益増を目指したい。	A	A	船長後継者の中途退職と、島内人口減少に より船員の確保がままならない中、船長2人 から定年に伴う退職の要望が出されている現 状より、まずは喫緊の課題として船員の確保 に努めたい。令和3年3月の新船就航を弾み に実績を回復できるように努めたい。	新型コロナウイルス感染が拡大する中で、感 染防止対策を実施し、離島航路を維持してい ること自体評価できます。 リプレイスを行い、今後船舶に係る諸経費等 が削減されていくかと思しますので、今後は 船員の確保など、安全運航に向けた取組に 期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	佐世保市(宇久)	神浦～寺島～柳	過去の実績を鑑み目標値を現実的なも のにしたうえで、運航率の安定を図っ た。	A	B	定期的な点検整備を行い、機関調整による 欠航を減らすことで安定的な就航率を図る。 加えて、新型コロナウイルスの影響もあり目 標値に達することが出来なかったが、風力発 電や、太陽光発電施設建設等寺島に関連す る事業の進捗によっては、本航路の利用者 数改善が望める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症 対策を実施し、離島航路を維持していること 自体評価できます。 今後も、安全運航や機関点検による欠航回 数の減少に向けた取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	津吉商船(株)	津吉～相浦～佐世保	・平戸南部地区の過疎化に伴う人口の自然減による輸送人員の減少を補うため、イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による南部地区町おこしの一環として「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し、観光誘致に努め、各種イベント等についても、可能な限りのPRを行い、平戸島外からの入込み客を増やすことにより運賃増収に努めた。	A	A	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・佐世保コンベンション協会に働きかけ佐世保地区へのPR化を図り、広域観光ルートの構築に取り組む。 ・イギリスからの「将軍ツアー」と、平戸商工会議所主導による「南部地区活性化委員会」にも積極的に参加し観光誘致に努め、各種イベントについても、出来る限りPRを行い、運賃の増収に努める。 ・船舶修繕費については、船員で整備修繕を行い、経費削減に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 新型コロナウイルスにて、海外向けの多くのイベント等観光誘致が難しい中で、今後は国内向けのイベント等にも力を入れた取組に期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	西海沿岸商船(株)	佐世保～神浦	長崎市及び島民との協議を行い、観光客の受け入れ体制、ダイヤについて協議を行っている	A	B	新型コロナウイルス感染防止対策を確実に継続すると共に西海市及び長崎市(池島)と連携し航路利用客の増加に努める	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、自治体との連携により、航路利用客の増加に向けた取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	平戸市	大島～平戸	燃料費の安価な購入のため毎月単価見積入札を実施した。 離島住民割引を実施し、島民の利便確保、負担軽減を図った。	A	B	燃料単価は昨年度に比較して減少しているが、主機回転数の抑制や毎月の単価見積入札を継続し経費削減に努める。また、ドック等において、塗装、小修理等可能な限り船員で行い経費節減に努める さらに、安定的な運航を図るため、船員の確保に努めていきたい。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること 自体評価できます。 今後は、ダイヤ通りの運航徹底や、安全運航の更なる取組に期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	対馬市	仁位～長板浦	有人国境離島割引及び同障害者割引により、地域住民の利用促進を図った。 また、経費については、小修繕・船舶保守点検など可能な限り船員で行い、主燃料の入札を年4回実施するなど経費削減に努めた。	A	B	本航路は主に通院目的の、高齢者・障がい者が利用されている。 人口減少等による過疎化が進む中、利用者も減少の一途をたどっている。 個人観光客の定期航路利用も見受けられるため、地域住民のみならず、観光客の利用促進を図りたい。 また、船舶修繕については、可能な限り船員で整備を行い経費削減に努めたい。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること 自体評価できます。 今後も観光客のための整備や、個人観光客の取り込み等を行う取組に期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	野母商船株 (長崎汽船株)	長崎～伊王島～高島	バック商品等の継続	A	B	・事業者単独での航路維持は非常に困難であり、公的支援が必要である。 ・令和元年12月1日に旧長崎汽船株を野母商船株に吸収合併し、経営効率の向上、合併による経費の削減を実施。今後も合併による経営安定化と航路収支の改善に努める。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染症対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 今後も、バック商品の継続や、使用船舶の船齢も経っておりますので、リプレース等の兼用などの取組に期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	鷹島汽船有	阿翁～御厨	全区間に離島住民運賃割引を導入した。少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流失により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であるが、交流人口の拡大、観光客の誘致のために「まつら党交流公社」と協力して、青島への体験型修学旅行生の受け入れに努めていたが、新型コロナウイルス感染症により4月より中止となり旅客の団体利用者が大きく減少した。	A	B	平成27年度に松浦市地域公共交通活性化協議会「殿ノ浦～今福航路対策分科会」において、阿翁～御厨航路に飛島を寄港地として追加する「航路改善計画」を作成した。それに伴い寄港地である飛島に週1回(基本水曜日)本航路の「フェリーたかしま2」を運航して、尿尿運搬車・ゴミ収集車・プロパンガス運搬車・燃料運搬のタンクローリー車等の車両輸送を行っている。4月の緊急事態宣言発令時には黒島地区及び青島地区より県外の利用者の自粛要望があり約1か月間協力しました。	新型コロナウイルス感染拡大の中、感染対策を実施し、離島航路を維持していること自体評価できます。 例年行っている事業等が行えず、輸送量等が減少しておりますので、今後は個人客への利用が促進されるような取組等に期待いたします。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	鷹島汽船(有)	殿ノ浦～今福	<p>少子高齢化の進行及び雇用の場が無く、若年者の島外流出により、利用者は年々減少傾向で歯止めがかからない状況であります。 離島住民運賃割引の導入及び寄港地である飛島へ島外からの釣り客利用者は、増加傾向であり今後も引き続き誘客に努める。</p>	A	B	<p>平成26年度の「航路改善計画」に基づき、今後は長期的視点にたった持続的な経営効率化と関係者間の連携強化を図る事にしている。 4月の緊急事態宣言発令時には飛島地区より県外からの利用者の自粛要望があり約1か月間協力しました。</p>	<p>新型コロナウイルス感染の中、感染対策を実施し離島航路を維持していること自体評価できます。 今後とも、利用客が多い釣り客等の誘客取組に期待します。</p>	
長崎県離島航路対 策協議会	壱岐市	大島～郷ノ浦	<p>観光客の拡大、校外学習によるフェリーの利用等、収入の維持、確保を図った。 経費については、消耗品の節減、燃料油費の毎月単価入札の実施、修繕費については、中間検査における一般競争入札の実施、船員による日頃からの船舶保守点検を徹底し、経費節減に努めた。</p>	A	B	<p>人口減少・少子高齢化等により、運航収益の減少が危惧されるが、引き続き島外からの観光客・教育旅行等による乗客及び交流人口拡大を図り収入の増加・確保に努める。 また、経費についても、燃料油費について毎月単価入札を実施、中間検査の一般競争入札実施、消耗品費、修繕費等の経費節減を図り、本航路の実情にあった経営改善を継続的に図っていく。</p>	<p>旅客輸送人員の目標未達成は、新型コロナ感染症の影響下やむを得ないところであり、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。 今後も人口減少が予想される中で、左記のとおり交流人口の拡大、収入の増加確保に向けた取り組みに期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	黒島旅客船(有)	黒島～高島～相浦	少子高齢化や黒島天主堂の耐震化工事(H31.2～R3.3予定)による利用者数の増加が見込めない中、船舶の錆落としや自社修繕、定期点検等の実施、相見積りや交渉等を行い経費節減に努めた。	A	A	利用者数の増加が見込めない中、欠損増加の抑制に努める。 今後も引き続き、船員による船舶の錆落とし、補修、日々の清掃、定期点検を実施し維持管理を行い経費節減に努める。また経費の精査を行い節減に努める。	旅客輸送人員の目標未達成は、新型コロナウイルス感染症の影響下やむを得ないところであり、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。 なお、黒島天主堂の耐震化工事の終了で車両航送への影響が危惧される一方で、旅客需要増の好機とするために、関係機関と連携し観光利用者集客に向けた取り組み推進を期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	五島市(奈留)	奈留島～前島	デマンド運航の定着及び利便性の向上を図り、離島航路の維持存続に努める。	A	A	デマンド運航の定着及び利便性の確保をしながら経費削減を図り、離島航路の維持存続に努める。	新型コロナウイルス感染症の影響下、感染症対策を講じながら離島航路を維持していること自体評価できる。 需要に応じて運航するデマンド運航は費用を圧縮するメリットがあり、地域及び島民が一体となって航路を維持していくという意識の醸成に取り組まれることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	(有)木口汽船	久賀～福江～杵島	前回の結果を参考として更に改善できる点がないか検討した。船舶の老朽化により修繕箇所が増えることは必至なので、日常のメンテナンスの実施を行うことはもとより、費用の大きい修理は長期的な計画予定を立て実施する事とした。また、船員でできる修理については、少しでも安い仕入れ先を検討し、船員自自行った。消耗品費についても数社の見積を取ったり、ネット購入やまとめ買い割引等検索し、細かい部分まで検討した。	A	A	久賀島、杵島とも国境離島新法運賃低廉化の効果により、島民の利用は比較的安定している。久賀小中学校では島留学生制度、家族留学制度も継続され、Iターンの受け入れに尽力している。 しかし、平成30年7月、久賀島の世界遺産登録後、増加傾向にあった観光客の利用が令和2年3月からコロナウイルスの影響で減少している。今後も観光客や帰省客の減少は予想されるが、島民の利便性を確保しつつ、コロナの終息を待ち、行政や観光協会等と一体となり、観光面でのPRや航路情報、島情報の発信を進め、観光客の獲得にも力を注ぎたい。	新型コロナウイルスの影響下、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。 久賀島、杵島久とも人口減少が進む中で、世界文化遺産登録を契機にネット配信等を通じ観光客誘致に積極的に取り組みにより、新型コロナウイルス発生前まで旅客輸送人員が増傾向にあったことは大いに評価できます。 今後とも地域と連携したPR活動等で観光客の増加が図られることに期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	(有)黄島海運	黄島～福江	燃料費の安価購入のため毎月単価購入契約を実施した。経費の削減に努め安定的な航路運営を図った。	A	B	使用船の老朽化にともなって修繕費が増加傾向にあることから新建造についても検討していきたい。離島住民及び利用者の要望を常に聞きながら、利用者の目線で事業運営に努めていきたい。	旅客輸送人員の目標未達成は、新型コロナウイルスの影響下やむを得ないところであり、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。 今後とも航路の利便性の確保並びに利用促進に取り組まれることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	五島市(富江)	富江～黒島	病院等の利用が多く見込まれる火曜日 (1日1往復)以外については事前予約 による海上タクシーを利用したデマ ンド運航とすることが承認されている。	A	B	海上タクシーによるデマ ンド運航を継続する。	新型コロナウイルスの影響下、感染症対策を 講じながら離島航路を維持していること自体 評価できる。 需要に応じて運航するデマ ンド運航は費用を 圧縮するメリットがあり、地域及び島民が一 体となって航路を維持していくという意識の 醸成に取り組まれることを期待します。	
長崎県離島航路対 策協議会	竹山運輸(有)	度島～平戸	黒島・大島・鷹島航路の用船の長期運 航に努め収入の増に努めた	A	B	慢性的な人員不足を解消する為に地元の船 員に対して雇用促進をお願いしていきたい 地元ネットワークに積極的に参加し住みや すい度島づくりに努める。 費用については複数社の見積もりを徹底し経 費削減に努める	新型コロナウイルスの影響下、感染症対策を 講じながら離島民の生活航路として日々の 運航を維持していること自体評価できる。 船員不足の問題は運航の安定性を損ないか ねない重要な課題であり、早急な対策が必 要であり、地元自治体とも連携し雇用環境の 整備と雇用促進の取り組みを期待します。 また、左記のとおり費用圧縮に向けた取り組 みも引き続き推進されることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	小値賀町	笛吹～大島・野崎	・町の観光窓口である「おちかアイランドツーリズム協会」と連絡を密にし「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」として世界遺産登録された野崎島を訪れる観光客の利用や修学旅行生や民泊利用者など、町営船の利用促進への対策を行った。	A	B	離島航路構造改革補助事業で立ち上げた航路対策協議会分科会を必要に応じ開催し効率的な運航や増収策など、意見を聞きながら取り組んでいく。	旅客輸送人員の目標未達成は、新型コロナウイルス感染症の影響下やむを得ないところであり、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。 新型コロナウイルスが収束した後は、野崎島利活用による修学旅行生や民泊利用者等交流人口の増加に向け積極的にPR活動等を推進されることを期待します。 一方で、平成30年野崎島集落世界文化遺産登録後実施している増便の費用対効果の検証も必要と考えます。	
長崎県離島航路対 策協議会	小値賀町	柳～納島	島の特産品である落花生収穫体験の研修等、団体客の利用	A	A	観光事業と連携した取り組み及び地域おこし協力隊を活用し情報発信、移住促進を行い利用客増加を図る。	新型コロナウイルス感染症の影響下、感染症対策を講じながら離島民の生活航路として日々の運航を維持していること自体評価できる。 地域と連携して観光客誘致を継続するとともに、地域が一体となって航路を維持していくという意識醸成の取組を期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
長崎県離島航路対 策協議会	嵯峨島旅客船(有)	嵯峨島～貝津	費用を抑えるためできるだけできることは船員で行い、比較ができる費用は見積もり比較をし依頼している。	A	B	「新型コロナウイルス」対策を万全に行い、二次離島の足として感染者を出さない取組を行っていきたい。	旅客輸送人員の目標未達成は、新型コロナウイルスの影響下やむを得ないところであり、感染症対策を講じながら日々の運航を維持していること自体評価できる。人口減少が進む中で、今後もイベント事業と連携をし、観光客等島外利用者を増加させるための取り組みに期待します。	
天草～長崎航路対 策協議会	苓北観光汽船(株)	福岡～茂木	・利用者増の見込みが大きすぎたため、適切な目標設定を行った。(H30年度実績並) ・苓北町観光協会・天草宝島観光協会の旅行情報紙において世界遺産関連の観光プランを展開した。また、福岡城お城まつり等のイベントに合わせたPRを「みなとオアシス福岡協議会」と協力して行い、航路利用促進に取り組んだ。	A	B	・福岡港からの二次アクセスとして、民間企業が一般レンタカー事業を行っており、航路利用者の利便性向上に役立っていることから、引き続きレンタカー事業者と連携をとっていく。 ・Googleマイビジネス導入による口コミ管理並びに天草地域の観光・イベント情報の発信を行い、観光客等の航路利用者の確保を図る。	離島航路を維持していること自体評価できる。今後島民の人口減少が予想される一方で、本航路は離島住民になくてはならない航路である。 ③2ボツ目は昨年の二次評価にかかる具体化であり、さらにはGoogleマイビジネス導入による口コミ管理並びに天草地域の観光・イベント情報の発信は先進的な取組であり、大いに評価できる。 また、今後は増収に資する目標のみならず、費用削減に関する目標も掲げることで収支改善に取り組まれることを期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	
姫島～国見航路運 営協議会	姫島村	姫島～国見	<p>○前回評価結果 「本土の最寄り駅の1つである宇佐駅 から伊美港への接続の改善を図った り、バスとフェリーの乗り継ぎ割引乗車 券の販売、イベント時期に合わせて県 や関係機関との連携による情報発信な ど観光振興や利用促進の取り組みを 行っていることは評価できる。今後は島 内外から観光客促進を進めて交流人口 の増大への取り組みに期待する」 →今年度は、新型コロナウイルス感染 症の感染拡大防止の観点から、例年開 催している「おさかな祭り」や「姫島盆 踊り」等のイベントを中止したことに伴い交 流人口が減少するなか、観光客の誘致 を促進するために新たに「がんばろう姫 島割引キャンペーン」を行い、交流人口 の増加に努めた。 また、協議会委員には、村の企画振 興課長や商工会会長、区長会会長を任 命しており、協力して観光振興や航路 の利用促進等の取組を行っている。</p>	A	B	<p>○日本ジオパーク等の地域資源を活かし、県 内外からの観光客誘致を進めて交流人口の 増大を図る。 ○船舶については常時点検を行うことで機械 的に良好な調子を保ち、大規模な修繕の発 生を回避する。 ○今年度中に策定する航路改善計画におい て検討する運営改善の取組を行う。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価しま す。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止 の観点から、例年開催している「おさかな祭 り」や「姫島盆踊り」等のイベントを中止せざ るを得ない中で「がんばろう姫島割引キャン ペーン」を行い、交流人口の増加に努めたこ とは評価します。 今後は島内外からの観光客促進を進めて交 流人口の増大への取り組みを行われること を期待します。 また、目標のうち「村外来島者5%以上増加 」について、旅客輸送実績が減少している中で 現実的な目標とは言い難いため、今後策定 される航路改善計画の内容も踏まえて、目標 を見直しされることについてご検討下さい。</p>
大島～佐伯航路運 営協議会	佐伯市	大島～佐伯	<p>○前回評価結果 「今後も人口減少や高齢化の傾向が予 想される一方、当該航路は必要不可欠 な住民の移動手段であるため、SNSな どを活用した島情報の発信や島内イ ベント等の観光利用促進に取り組んで行 くことを期待する」 →今年度は新型コロナウイルス感染症 の感染拡大の影響に伴いイベント等は 行えていないが、協議会委員には、市 の地域振興部長や佐伯市あまべ商工 会会長、大島地区自治会長を任命して おり、協力して移住や観光、利用促進 等の取組を行っている。</p>	A	B	<p>○新型コロナウイルス感染症の拡大の状況 を見つつ、関係機関と連携して情報発信を行 うとともに、活性化方策として島内イベントを 開催し、需要の喚起を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規 模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図 る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価でき る。 今後も人口は減少や高齢化の傾向が予想さ れる一方、当該航路は必要不可欠な住民の 足であるため、SNSなどを活用した島情報の 発信や島内イベント等の観光利用促進に取 り組んで行くことを期待します。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
蒲江～深島航路運 営協議会	蒲江交通(有)	蒲江～深島	<p>○前回評価結果 「本土の学校に通学する児童のため、関係機関と連携のうえ、スクールポート便の運航を実施させたことは評価できる。今後も経費削減や、パンフレット、ホームページからの観光情報配信などの取り組みに期待する」 →今年度も引き続き島民によるマリンアクティビティやゲストハウス等の運営、HPやSNSによる情報発信等を市や関連機関と連携して行っており、島の活性化や航路の利用促進につながっている。</p> <p>また、協議会委員には、市の地域振興部長や佐伯市あまべ商工会理事、屋形島・深島区長を任命しており、協力して利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○今後も人口の減少が見込まれており、島民利用の増加は望めないことから、観光関係部署と連携を図りながら引き続きホームページ等で情報発信を行い、来訪客の増加を図る。</p> <p>○更なる経費節減に努め、欠損額の抑制を図る。</p>	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>島民によるマリンアクティビティやゲストハウス等の運営、HPやSNSによる情報発信等を市や関連機関と連携して行っている点は評価できる。</p> <p>また、次年度計画では構造改革事業(調査事業)を実施する予定としていることから、航路の収支改善に向けた航路改善計画の策定に向けて、不断の取り組みを進められることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果			⑥事業の今後の改善点	地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況		評価結果	
津久見～保戸島航路運営協議会	(有)やま丸	津久見～保戸島	<p>○前回評価結果 「ホームページやSNSを活用した情報発信、地域と連携した誘客促進の取り組みを積極的に行っていることは評価できる。 また、島民・市・市観光協会・県による「保戸島わくわく会議」を開催していることは、意見交換に最適な場であり今後は是非とも続けていただきたい。今後新たな、観光客誘客に向けた取り組みに期待する。」 →今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に伴い「保戸島わくわく会議」等のイベントも中止となり、観光客誘客に向けた取り組みを行うことが難しかったが、安心して航路を利用してもらえるよう市がサーモグラフィーを設置するなど、利用拡大に向けた感染拡大防止対策に取り組んでいる。 また、協議会委員には、市の経営政策課長や津久見市商工会議所会頭、保戸島区長会会長を任命しており、協力して移住や利用促進等の取組を行っている。</p>	A	A	<p>○観光部署と連携して観光ツアーの取組を強化し、来訪者の利用拡大を図る。 ○船舶の日常点検を徹底し、突発的な大規模修繕の発生を回避し修繕費の削減を図る。 ○細かな節減に努め経費の圧縮を図る。 ○今年度中に策定する航路改善計画において検討する運営改善の取組を行う。</p>	<p>コロナ禍において、地元自治体の支援を受けて、感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価します。ホームページやSNSを活用した情報発信、地域と連携した誘客促進の取り組みを積極的に行っていることは評価します。また、島民・市・市観光協会・県による「保戸島わくわく会議」を開催していることは、意見交換に最適な場であり今後は是非とも続けていただきますようお願いいたします。今後作成される航路改善計画の内容も踏まえ、収支改善のための取組を実施されることを期待します。</p>	
延岡市離島航路確保維持改善協議会	日豊汽船株	島浦～浦城	<p>離島航路を維持するため、利用客の増加に向けた取組として、区、漁協、有識者等で構成された「島業推進協議会」において、島の振興施策「ビジネスプラン」を公募により選定した。4月以降は新型コロナウイルスの影響で、十分な取組を行うことができなかったが、その中で、接続する路線バスと連携したモデルコースを策定し、島外利用者の増加に向けて航路のPR等を通じて、引き続き観光客の誘客に向けた取組を行った。</p>	B	B	<p>新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、航路を利用する島民には、マスク着用や手指消毒の徹底といった予防対策を講じながら、利用促進に努める。 また、新型コロナウイルスの終息を見据えた上で、観光振興による利用客の増加を図るため、観光協会や商工会議所などの関係機関や、島業推進協議会、地域住民等と連携した取組を進めていく。</p>	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価できます。また、十分な取組が実行できない中においても、接続する路線バスと連携したモデルコースを策定したことはポストコロナを見据えた需要喚起のために必要な取組であり、評価します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
串木野・川内～甑島 航路対策協議会	甑島商船株式会社 串木野・川内～甑島 航路	串木野・川内～甑島 航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・甑島への入込観光客の誘客促進を図るため、旅行代理店向けの旅行商品割引や高速船周遊割引を実施した。 ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した滞在型観光促進事業に注力し、薩摩川内市及び薩摩川内市観光物産協会等と連携し、個人向けの旅行商品を造成し営業展開を図り、甑島への入込観光客の誘客促進等を図った。 ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。 ・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。 ・甑島の人口は減少傾向にあるが、令和2年8月の甑大橋の完成により甑島の観光振興は加速しており、引き続き、特定有人国境離島法の滞在型観光促進事業、GOTOトラベル事業などを活用しながら、地元自治体・観光関係事業者と連携し、島外からの交流人口の増加を図る。 	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価します。</p> <p>また、緊急事態宣言下における旅客需要や感染リスク軽減も考慮し、高速船を運休する一方で、感染が収束した時期には個人向けの旅行商品を造成し営業展開を図るなどメリハリの聞いた取組を実施されることは評価します。</p> <p>今後は甑大橋開通を受けて増加するレンタカー需要や陸上交通との結節などの課題について、R3年度で計画している調査事業において検討され、需要拡大のための方策を検討されることを期待します。</p>	
鹿児島～三島～枕崎 航路対策協議会	三島村 鹿児島～三島航路	鹿児島～三島～枕崎 航路の運航	<ul style="list-style-type: none"> ・増便等による利便性の向上により、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した利用促進に取り込むことで、輸送量の維持・確保に努めた。 ・平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、輸送量確保のため、地域間交流や各種イベント等、村の施策と連携した、利用促進に努める。 ・本航路は、住民の利便性向上のため、平成28年10月より、便数利便性改善支援制度を活用して、週3便から週4便へ増便したところであり、今後、運航日程・発着時刻に関する住民の要望や利用動向を踏まえ、さらなる航路の利用促進に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。 	<p>コロナ禍において感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価できます。</p> <p>離島航路を維持していること自体評価します。</p> <p>公共事業減少に伴い運航収入が減少しているが、公共事業だけに依存しない航路経営を目指し地域間の交流や各種イベント等の取組みに期待します。</p> <p>また、新船が就航し、航路改善事業に基づく取組みが進展されることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
鹿児島～十島～名瀬航路対策協議会	十島村	鹿児島～十島～名瀬	<ul style="list-style-type: none"> 十島村において、定住対策関連事業(交流人口の増加対策や地元産業の育成対策等)に取り組むことにより、本航路における輸送量の確保及び航路収支の維持を図った。 平成28年度まで本事業により実施してきた離島住民割引は、平成29年4月から有人国境離島法による運賃低廉化事業に移行され、引き続き、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年4月より、運航ダイヤの見直しを行っており、今後もこれに基づき航海時間の短縮による旅客等の利便性及び定時性の向上に努める。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減及び安定的な航路運営に努める。 今後の新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、感染防止対策を徹底し、旅客の利用促進に努める。 	<p>コロナ中において感染拡大防止対策を講じながらも離島航路を維持していること自体評価します。</p> <p>今後はフェリーとしま2を利用したツアーの拡大等による島内外の航路利用促進の取り組みや、十島村が実施する定住促進対策関連事業等の施策との連携に期待します。</p>	
鹿児島～喜界～知名航路対策協議会	奄美海運株	鹿児島～喜界～知名	<ul style="list-style-type: none"> 奄美群島振興交付金による地域住民に対する運賃軽減事業や住民以外の運賃割引制度を活用し利便性と利用促進を図った。また、インバウンド対策、航路紹介冊子等の作製・配布、インターネット広報の活用など、広報活動を強化し、収益の確保に努めた。 SOX規制に対応した適合油へ切替え燃料油価格変動調整金の設定を見直し、運賃を適切に収受し収支改善に努めた。 運航の安全を確保しながら随時見直しや検討を行い航路収支の改善に努めた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 奄美群島振興交付金による地域住民に対する運賃軽減事業や住民以外の運賃割引制度を活用し利便性と利用促進を図った。また、インバウンド対策、航路紹介冊子等の作製・配布、インターネット広報の活用など、広報活動を強化し、収益の確保に努めた。 SOX規制に対応した適合油へ切替え燃料油価格変動調整金の設定を見直し、運賃を適切に収受し収支改善に努めた。 運航の安全を確保しながら随時見直しや検討を行い航路収支の改善に努めた。 	<p>離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>Sox規制により上昇する燃料油価格について、適切に運賃に反映させている点は評価できます。今後も市場価格を注視し適切に運賃に反映されることに期待します。</p> <p>奄美群島相互間において、地域住民を対象とした奄美群島航路運賃軽減事業や奄美群島交流需要喚起事業等による運賃割引を実施し、また奄美群島振興交付金を活用した航路紹介冊子を作成し、航路のPR等を行っている事も評価できる。</p> <p>今後は奄美群島の世界自然遺産登録に向けて、航路のPRを行い航路の更なる活性化に向けて取り組まれることを期待します。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
宮之浦～口永良部・ 島間航路対策協議会	屋久島町	宮之浦～口永良部～ 島間	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月28日に口永良部島の火山警戒レベルが「2」から「3」に引き上げられたため、公共工事の延期等が発生したが、島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月28日に口永良部島の火山警戒レベルが「2」から「3」に引き上げられたため、公共工事の延期等が発生したが、島民にとって必要不可欠な生活航路としての安定的な航路運営に努めた。 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用した運賃低廉化事業を引き続き実施し、住民等の負担を軽減することで、利用促進を図った。 	離島航路を維持していること自体評価できる。 今後は新船就航を控えていることから航路改善計画に沿った具体的な目標を取り入れ、収支改善に向けた取り組みを推進されることを期待します。	
与路～古仁屋航路 対策協議会	瀬戸内町 与路～古仁屋航路	与路～古仁屋航路	<ul style="list-style-type: none"> イベント開催など、地域住民の要望に応えるとともに、必要に応じて運航ダイヤの見直しを行うなど、利用者と航路運営の課題を共有しながら、輸送サービスの向上に努めた。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 目標年間輸送量を確実に達成できるよう、与路島、請島でのイベント開催や農業振興等による取扱い貨物の増など、町の施策と連携した需要喚起策に努める。 離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営に努める。 	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも離島航路を維持していること自体評価します。 また、イベントの開催など地域住民の要望に応え、必要に応じてダイヤの見直しを行うなど利用者と航路運営の課題を共有しながらサービスの向上に努めている点も評価します。 今後も、町の施策と連携した需要の拡大に向けた取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
 (生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
瀬相～古仁屋～生 間航路対策協議会	瀬戸内町	瀬相～古仁屋～生間	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を徹底している。 ・平成29年4月より実施している加計呂麻島民を対象とした離島住民割引を引き続き実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。	A	B	・加計呂麻島住民を対象とした離島住民割引を継続して実施し、島民の利便性確保、負担軽減に努める。 ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努めるとともに、安定的な航路運営に努める。	新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながらも離島航路を維持していること自体評価できる。 今後も、加計呂麻島の住民を対象とした離島住民割引により利用拡大を図るとともに、必要不可欠な生活航路として維持するため、島民の利便増進の取り組みについて、期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
天草～長島航路対 策協議会	天長フェリー株式会社	天草～長島	<ul style="list-style-type: none"> ・長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、特に長島町など行政が実施する各種イベントと連携し、島外からの交流人口の利用促進を図ることで、目標の輸送量確保及び航路利用の促進に努めた。 ・長島町が獅子島住民の利用促進の一環として実施している自動車運賃を一部助成する制度(平成22年7月～)を活用し、自動車輸送量の確保に努めた。 ・平成30年10月より獅子島住民を対象とした離島住民運賃割引を実施し、島民の利便性確保、負担軽減を図った。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持・確保のため、今後とも経費削減に努め、安定的な航路運営を行う。 ・引き続き「旅客船事業における新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」に沿った感染予防策の実施に努める。 ・天草～長島航路の利用促進、特に獅子島への化石見学、グルメ利用等への利用促進を図るとともに、長島町や天草市など関係自治体との連携を図り、地域間交流事業など島外からの交流人口の利用促進を図り、輸送量の維持に努める。 ・平成30年3月に策定した「航路改善計画」に基づく運航形態の見直しや代替船(省エネ効率化船)の導入による経費削減等効率的な航路運営に努める。 	感染拡大防止対策を講じながらも地方自治体と連携した車輛航路運賃助成制度も功を奏し、コロナ渦においても自動車輸送量増を達成していることは評価します。今後も平成30年3月に策定した航路改善計画に沿った取り組みに期待します。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達成 状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	竹崎～六連島航路	<p>船舶の小型化(49トン→19トン)により燃料費、検査費用、修繕費等の削減を目標としていたが、各項目とも大幅な削減が実施できた。</p> <p>また平成31年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として六連島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。</p>	A	A	<p>島民及び利用者の意見を反映させながら利用者拡大及び利用しやすい航路サービスへの改善に取り組んでいく。</p> <p>引き続き燃料費、修繕費等の削減に努め、安全運航を最優先にして安定的な航路運営を行う。</p> <p>コロナ禍の中で観光客の利用促進は、難しい課題ではあるが、六連島灯台が日本遺産・国の重要文化財に認定されたので、今後PRに努め観光客の増加に繋げて行きたい。今後、島内で島民と渡船利用者との交流イベント(玉ねぎの販売等)を企画しており、イベント等を通じて渡船利用者の増加を図る。</p> <p>そのためコロナ感染防止策を講じながら、関係部署や地元と協力し、コロナ収束を見据えた利用者の増加に向け、鋭意、努力していく所存である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、離島航路を維持していること自体評価できる。</p> <p>R2年10月に六連島灯台が国の重要文化財に認定されたことも契機として、左記交流イベントを実行されるなど、渡船利用者の増加に向けた取組に期待します。</p> <p>また、新船がH31年4月に就航し、2年が経過しようとしていることから小型化も踏まえた具体的な収支改善目標を作成されることをご検討願います。</p>	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年3月31日

九州運輸局

評価対象事業名：確保維持改善事業(離島航路運営費等補助事業)

協議会名	①補助対象事業者等	②事業概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における 二次評価結果	備考
			③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業 実施の 適切性	⑤目標・ 効果達 成状況	⑥事業の今後の改善点	評価結果	
山口県生活交通確保維持改善協議会	下関市	蓋井島～吉見航路	<p>テレビ等のマスコミの取材に積極的に協力し、観光客の誘致等に努めている。平成30年4月に新船が就航したことから、関係部局とともに情報発信の一環として蓋井島カラー版リーフレットを作成、市内の観光施設等に設置し、渡船利用者にも配布を行い、島のPRに努めた。</p> <p>また 自治会や島民が中心となり島おこしを行っており、市としても積極的に情報発信も行っている。</p>	A	A	<p>島の情報発信の取り組みとして現時点では、山口新聞に蓋井島の釣り情報を掲載している。</p> <p>安全に配慮しながら安定的な航路運営を行う。</p> <p>離島住民にとって必要不可欠な交通手段である航路の維持確保のため、今後とも燃料費、修繕費等の経費削減に努めるとともに、令和2年10月に島民と渡船利用者との交流できる施設が島内に出来、今後、交流イベント(つばき油販売等)を企画していることから、イベント等を通じて渡船利用者の増加を図る。</p> <p>コロナ禍の中での観光客の利用促進は、難しい課題ではあるが、九州からの釣り客等は増加傾向にあることから、コロナ感染防止策を講じながら、関係部署や地元と協力し、コロナ収束を見据えた利用者の増加に向け、鋭意、努力していく所存である。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、離島航路を維持していること自体評価します。</p> <p>左記交流イベントを実行されるなど、渡船利用者の増加に向けた取組に期待します。</p> <p>また、新船がH30年4月に就航し、3年が経過しようとしていることから省エネ型新船の実績も踏まえた具体的な収支改善目標を策定されることをご検討下さい。</p>	